10

義経街道コース

～義経が通った道を歩いてみよう～

- 歩行距離　17.3 km
- 所要時間　4時間30分
- 難易度　★★★★★
- 基本消費量カロリー　850kcal

N

追分明神

追分明神は義経が平家追討の祈願をしたところ。創立は古く、延暦10年（791年）坂上田村麻呂が征夷の途次に勧請したものと伝えられている。

追分明神

杉林の少し下りの一本道。森林浴を楽しみながら歩いてください。

具足岩

弁慶が、「具足（よろい）のようだナ」と言った、錣兜の「しころ・くさずり」のように岩が何枚も連なり、重なり合っています。後に、この岩肌を「具足岩」と呼ぶようになりました。

月夜見山

月夜見山

追分明神の東にひときわ高く聳える山をいう。月夜見山は月読で、月読命を祀った場所。

乙次郎の墓

具足岩

五両沢

五両沢

山あいの沢々からしみでてくる水は、きれいで冷たく、手にすくって口にふくめばさっぱりとすがすがしい。「五両の金を出しても買うていきたいような水だなア」というところから里人は、ここを五両沢と呼ぶようになりました。

おじぞう様

沓石

大きな石が道に横たわっています。これを沓石と言いますが、里の名もこの石の名からでたのだと言われています。この石の上に、馬の足跡のようなへこみがあります。これは、義経の乗馬の足跡だと言われています。

菊地製菓

沓石

三森家住宅

当家は、江戸時代に交代名主及び問屋を勤めていた家柄である。主屋は茅ぶき平屋の寄棟造りで、間口約22 m、奥行約10 mある。この地方では規模が大きく、民家として代表的な建造物である。梁は松材を用い、ちょうな削りで木材を自然のままに巧みに組み合わせている。なお主屋前面には、長屋門があり、国の重要文化財に指定されている。

小倉沢橋

旧義経街道

静かな旧義経街道。往時を偲びながら、田舎道を歩いてください。

美野沢小学校

文

WC

P

彼岸花群生地駐車場

スタート地点

彼岸花群生地

蓑沢地区の見所には彼岸花群生地があります。毎年9月の彼岸になると蓑沢公民館近くの田の土手に真っ赤な彼岸花が群生します。

滝の宮神社

吉成農機

滝の宮神社

義経一行は、残暑の秋の陽を避けてここで休むことにした。祠のすぐ裏に細い滝があり、ちょうど鈴でも鳴らすようなすがすがしい音をたてて、三蔵の流れへ落ちていく。里人はこの滝を「鈴なりの滝」と呼んでいた

幣石神社（おんべし）

山桜（那須の名木）樹齢200年

幣石神社

一般に「おんべし」と呼ばれる。石に神霊が宿り、これを祀ったものである。畑の中に大きな石が数個散在している。昔、里人がこの石を取り除こうとして、割ったりすると必ず病気に罹ったりするので「おんべし」の祟りを怖れて、今もそのままにしておくという。

三森家住宅

WC

P

三蔵川

76

1:25,000

0　1000m　2000m

コース概要

彼岸花群生地駐車場 — 0.3km — 美野沢小学校 — 1.6km — 小倉沢橋 — 0.8km — 沓石 — 1.4km — 五両沢 — 0.1km

具足岩 — 0.7km — 月夜見山 — 1.1km — 追分明神 — 8.3km — 三森家住宅 — 1.1km — 幣石神社 — 1.2km

滝の宮神社 — 0.7km — 彼岸花群生地駐車場